

# 単位認定インターンシップに行ってきました (File.8)

授業科目名:世界教養プログラム/就業体験

派遣先企業・機関名:橋本総業株式会社

配属部署:人事課

研修期間:2021年9月1日~2021年9月14日(10日間)

言語文化学部 言語文化学科 ドイツ語専攻 2年 山本 梨瑛



## \* 橋本総業株式会社とは

水道やお風呂、キッチンをはじめとする建築設備機器およびインフラ（水道、ガス）関連資材、その他住まいに関する資材・機器の専門商社です。

B to Bの企業のため、私たち個人の消費者が直接的に取引をすることは基本的にはなく、企業と企業の間で商品やサービスのやり取りをしています。

例えばLIXIL、リンナイ、パナソニック、TOTO他多数のメーカーから集め、一括してハウスメーカーなどに販売しています。

<https://www.hat.co.jp/>

## ■ 参加した理由

2年生になり、就職活動に対して曖昧なイメージしか持っていないことや、大学に入ってから一年で何も成し遂げていないことに不安を抱いたことが、このインターンシップ参加の大きな理由です。特に新型コロナウイルスの影響で、昨年度のイベントの多くが中止になり、またオンライン授業やサークル活動の制限により、自らのコミュニティをさほど広く持つことができず、就職活動に関する話題に触れる機会が少なかったこともあり。夏学期の間に本格的に企業のインターンシップに参加するのは未熟な自分では力不足だと感じていたところ、学部1,2年生向けに、キャリア科目の一環として参加することのできるこのインターンシップを知り、応募させていただきました。応募当初は、自分の興味のある業界に観光業をあげていましたが、せっかく商社である橋本総業にインターンシップとして行かせてもらうので、自分が持っていない観点や、現在詳しく知らない分野について学べたらと思いました。

## ■ インターンシップの内容

インターンシップの全日程を通して私がする基本的な業務としては、新入社員向けのマナー本と、橋本総業の歴史に関する本のデータベース化でした。また、オンラインで行われる大学向けの企業説明会や、中途採用の面接を見学させていただきました。さらに、色んな職種の方に仕事に対する心構えや、就職活動についての話を伺う機会をいただきました。

基本的には本社におき、デスクワークをする環境にいましたが、配送センターのある東雲にも二回ほど足を運び、実際に商品加工を行っている担当の方とお話をさせていただいたことがかなり貴重な経験でした。



## ■ 記憶に残るエピソード

最も印象的だったことは、人の数だけ働き方があるということが感じられたことでした。もちろん、パートや時短で働いている方がいることは大方予想ができていましたが、「基本的には終身雇用がスタンダード」なのだろうと

いう印象を持っていました。橋本総業には、転職をして中途で入社した方も多く、中には全く別のアパレル業界で働いていた人もいて、職場環境や仕事内容など、満足できない部分があれば転職するという選択肢が十分あるということが予想外でした。仮に、就職活動の期間に自分のやりたい職業に就けずとも、まだチャンスは残っているとも思えました。例えば、コロナ禍で厳しい観光業などは、現在新入社員はほとんどいない状況だと思いますが、数年経ってからもう一度挑戦できるということは、私が考えてもいなかった発想でした。



## ■自分の気づき、学んだこと、これからどう活かす

インターンシップの期間中、営業の方に仕事について話を伺うことが多かったのですが、営業はコミュニケーションや人との会話が物凄く得意な方しかできないと思っていました。しかし実際は、人との会話が最大の得意で社内の方にも知り合いが多いという方から、黙々と作業をするタイプの方まで、色々なタイプの営業の方がいるということが印象深かったです。お客様にも、対話を好む方と、淡々と話を進めたい方がおり、営業といえども様々な方がいた方が良く、非常に納得しました。自分は、コミュニケーションが不得意ではないものの、営業として働けるほどではない、自分に営業は向いていないと思っていましたが、橋本総業の営業の方には、「営業向いているよ」とコメントされたことも多かったです。実際に営業職を志望するかどうかはわかりませんが、自身のステレオタイプ的な見方で選択肢を狭めないよう、何事もまずは知ることが大事だと学びました。

## ■学生への呼びかけ(インターンシップのすすめ)

学部1、2年生向けの、キャリア科目としてのインターンシップです。「社会とはどういうものなのか」や、就職活動について知るいい機会だと思います。就業するということに対して具体的なイメージを持ってない中、進路について考えることは難しいと思います。このインターンシップは、直接的に就職活動に繋がるものではなく、授業の一環で参加することができる上、大学のサポートもあります。興味がある方は是非挑戦してみてください。



## ■感謝のこトバ

橋本総業の方は、皆とても優しく接してくださり、とてもありがたかったです。このインターンシップを通じて就職活動や働くということに対して明確なビジョンを持ちたいと話したところ、社内の様々な方に話を聞く機会を設けていただき、目的が達成できたように感じます。私が観光業に興味があると話したところ、大手旅行会社から出向により橋本総業で勤務されている方や、グループ会社の一つである『みらい旅行社』の社員の方に話を聞くなど、たくさんの経験をさせていただきました。橋本総業でのインターンシップでは、この学部1、2年生向けのインターンシップの目的に合った経験ができました。ありがとうございました。